



旧西尾街道（箕輪町新芳畔）



道標は、道路の分岐点にあって、それぞれの進む方向と目的地を記す、重要なものでした。

箕輪町の光明寺門前にあるこの箕輪の道標は、もともと現在の幹線三河安城駅前位置する同町新芳畔の旧西尾街道にあったもので「右 ぶかま道 左 にしを のてら道」であることを示していました。道路新設、ほ場整備などのために移設を余儀なくされ、その先として、昭和の末に、同じく旧西尾街道沿いにあるこの地が選ばれました。

わたしの知る限りでは、旧西尾街道沿いには、同じような道標が、ほかにも知



★箕輪の道標
(箕輪町本屋敷)

その8

箕輪の道標

みちしるべ

立市の猿渡橋のたもとど、市内赤松町にありましたが、残念ながら、現在はその場所には残っていません。

「泣イテ別レタ 箕輪ノ傍示木 草が生へマス 別レ草」と唄われている村の古い唄がありますが、それは、伊勢参詣で親しくなった友が、ここでの惜別の悲しい想いを唄ったものだと言われています。

右へ行くべきか、左へ行くべきか、この先、果てしなく続く道の分岐点に立つた旅人にとって、この小さな道標の果たす役割は、さぞ大きかったに違いありません。



今月の案内人

箕輪町 鈴木了正さん